



発行日
平成17年(2005年)3月16日
(第3号)

編集・発行
エコパートナーシップうじたわら
広報部会

事務局 TEL(88)6635
FAX(88)3231

環境生物フォーラム(後援事業)

『宇治田原町の豊かな自然と野生生物の世界』の開催



環境生物フォーラムのようす

宇治田原環境生物研究会主催、本会后援の『環境生物フォーラム 宇治田原町の豊かな自然と野生生物の世界』を、町内外から約50名の参加のもと、平成17年2月19日(土)に開催されました。

このフォーラムでは、龍谷大学 好廣眞一教授が「里山の生き物たち」について特別講演をされたあと、宇治田原町野生生物調査報告として、環境生物研究会のメンバーでもある本会の会長阪本伊三雄さんと自然・生活環境部会長の岩瀬剛二さんが、それぞれ「心に花を、水にも命」、「不思議な生物の世界～宇治田原町のきのこ～」のタイトルで報告発表されました。

参加者からは、「日頃は見過ごしがちな絶滅が危惧されている多くの生き物の実態を知って、環境の大切さを学ぶ良い機会になりました。」などの声をいただきました。

今後も、環境に積極的に取り組んでいる関係機関と連携・協働(パートナーシップ)していくなかで、本会も『まず、できることから始めよう。』を合い言葉に「住民の皆さんに広く宇治田原の自然を認識してもらい、環境保全を行っていく。」ため、積極的に環境への取組を行っていきます。

会員紹介 インタビュー

株式会社 アストム 宇治田原工業団地内



長屋 英幸さん

1. エコパートナーシップうじたわらに入会したきっかけは

宇治田原町役場のご担当様より「環境保全計画」の説明及び入会の要請を受け、ISO14001を取得している事業者として何かお役に立てればと思い、入会しました。

2. 入会しての感想は

グローバルな環境問題並びに和みのまち宇治田原を存続する為にパートナーシップ会議を発足され、行政・住民・事業者でより良い環境づくりに取り組む姿勢に感銘しました。

正直、事業者として何をすべきかと自問自答しながら会議に出席していましたが、エコパートナーシップうじたわら設立後、部会を通じての目的・目標も明確になってきましたので、事業者として活発的に参画していきます。

3. 現状の環境問題について及び現状打開の対策について

京都議定書が正式に発効され、地球規模での温暖化対策が始まりました。

しかし、国際・国内的に現実を直視すると環境配慮や温暖化への理解や認識、関心が定着していない事が一番の問題と感じます。

打開策としては、一人の百歩より百人の一步で目的に向かい行動し、実践した内容を次世代に引き継がれる伝承システムを構築する事が、先決ではないでしょうか。

4. 会社(個人)のアピール

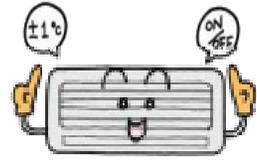
企業としては、1999年にISO14001を取得し、環境との調和をコンセプトにハイブリッドカーの導入や排熱を利用した空調設備、脱フロン化に伴う洗浄設備を使用し、高品質及び環境に優しいもの作りを実践しております。

個人的には、家庭で身近に楽しく出来る省エネ(3R:リデュース・リユース・リサイクル)を実践しております。

環境取組アイデア募集 (広報部会)

エコパートナーシップうじたわらでは、『皆さんの環境保全に向けた活動』『家庭での省エネのアイデア』などの環境への取組アイデアを下記の要領で募集します。
応募いただいた活動及びアイデアについては、会報誌等で紹介するとともに、環境活動のバイブルとして冊子にとりまとめることも予定しておりますので、どしどしご応募ください。

応募方法：原稿用紙など(様式は問いません)に、氏名(団体名と代表者名) 住所(代表者の住所) 電話番号 活動内容
(200字以内で簡潔にまとめてください)を明記し、活動時の写真(サービス判・1枚)を添えて、郵送もしくはEメールにて下段の応募先に応募してください。



<注意事項>

- ・営利を目的とした活動や政治・宗教に関する活動は掲載できません。

アイデアとして採用されました方には、素敵なプレゼントを進呈いたします。

「家で眠っている処理後の堆肥」はありませんか

(循環型社会・地球温暖化防止部会)

エコパートナーシップうじたわらでは、生ごみ処理後の堆肥を使ったモデル畑事業を実施することとなりました。

ぜひ、みなさんの生ごみ処理後の堆肥で素敵な畑を作ってみませんか。
処理後の堆肥提供にご協力をお願いします。(下記までお問い合わせください)



入会のご案内 (一般会員 111名 賛助会員 6団体 平成17年2月末現在)

会員の区分

- ・個人会員 = 町民、町内への通勤・通学者、環境に関心のある人
- ・団体会員 = 町内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員 = 本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

会費

- ・個人会員・団体会員については、無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

入会の方法

- ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

部会

- ・広報部会・・・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・自然・生活環境部会・・・河川や動植物の学習会、自然観察ファミリーハイキング開催
- ・循環型社会・地球温暖化防止部会・・・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等

次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

株式会社宇治田原製茶場、宇治田原町商工会、宇治田原町森林組合、協栄開発株式会社
京都やましろ農業協同組合、区長会

平成17年2月末現在(50音順・敬称略)

応募先・お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局
(宇治田原町循環型社会推進室内)

〒610-0289

京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10

TEL 0774-88-6635 FAX 0774-88-3231

Eメール：junkan@town.ujitawara.kyoto.jp



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原